

連結財務諸表（要旨）

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日現在)
資 産 の 部	
流動資産	184,639
固定資産	136,662
有形固定資産	102,365
無形固定資産	3,541
投資その他の資産	30,754
資産合計	321,302
負 債 の 部	
流動負債	116,933
固定負債	145,425
負債合計	262,359
純 資 産 の 部	
株主資本	59,888
その他の包括利益累計額	△ 16,632
非支配株主持分	15,687
純資産合計	58,942
負債純資産合計	321,302

四半期連結損益計算書

単位：百万円

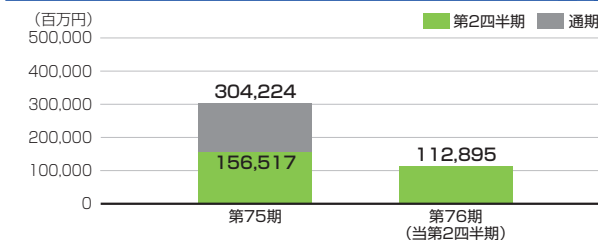
科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から2020年9月30日まで)
売上高	112,895
売上原価	101,837
売上総利益	11,058
販売費及び一般管理費	13,179
営業損失	2,120
営業外収益	1,789
営業外費用	1,852
経常損失	2,183
特別利益	22
特別損失	1,359
税金等調整前四半期純損失	3,520
法人税等	1,297
四半期純損失	4,818
非支配株主に帰属する四半期純利益	265
親会社株主に帰属する四半期純損失	5,083

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

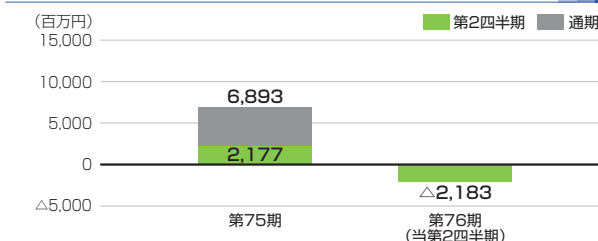
単位：百万円

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,488
現金及び現金同等物の期首残高	53,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,310

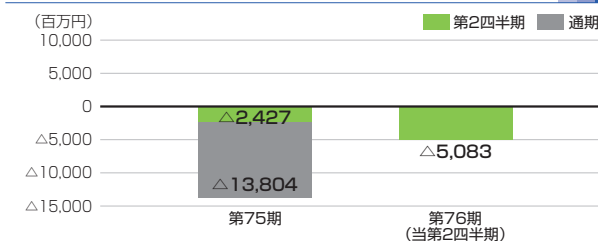
■ 売上高



■ 経常損益



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益



株式の状況・会社の概要

(2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株	代表取締役社長	北 田 勝 義
発行可能種類株式の総数	普通株式 150,000,000株	代表取締役	代 表 取 締 役 武 信 幸
A種種類株式	15,000株	取締役	取 締 役 杉 山 雅 彦
B種種類株式	6,000株	取締役	取 締 役 駒 形 崇 (注)
C種種類株式	5,000株	取締役(監査等委員)	取 締 役 木 内 啓 治
発行済株式の総数	普通株式 45,581,809株	取締役(監査等委員)	取 締 役 藤 原 晃 (注)
A種種類株式	15,000株	取締役(監査等委員)	取 締 役 葉 山 孝 (注)
C種種類株式	5,000株	取締役(監査等委員)	取 締 役 段 谷 繁 樹 (注)
株 主 数	普通株式 8,505名	(注) 社外取締役	
A種種類株式	1名		
C種種類株式	1名		

MITSUBA

〒376-8555 群馬県桐生市広沢町1-2681
TEL 0277-52-0111 (代表)
URL <https://www.mitsuba.co.jp>



株主の皆様へ

証券コード：7280

心 ひろがる技術

MITSUBA

株式会社 ミツバ



第76期中間報告書

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社第2四半期の中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆さまにごあいさつを申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済・わが国経済は、国内外の需要回復の動きを受け一部持ち直しの動きは見られるものの、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、引き続き経済活動が抑制され厳しい状況が続いています。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は112,895百万円（前年同期比27.9%減）、連結営業損失は2,120百万円（前年同期は3,016百万円の連結営業利益）、連結経常損失は2,183百万円（前年同期は2,177百万円の連結経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,083百万円（前年同期は2,427百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループは、第11次中期経営計画（2017年度～2019年度）の計画最終年度である2020年3月期の厳しい業績結果を踏まえて、2020年度から始まる第12次中期経営計画では、「事業構造改革の推進」、「企業体質の強化」、「次世代に向けた取り組み」の3点を経営方針とし、これらの施策を着実に遂行することにより、収益基盤を底上げし将来の確固たる事業基盤を確立します。

① 事業構造改革の推進

従来の5事業制から四輪事業および二輪・汎用事業の2事業制へ見直し、リソース配分の最適化を図ります。特に成長の見込める二輪分野へ経営資源をシフトしグローバルで高まる環境規制対応ニーズに対応します。

さらに「市場・顧客」と「商品」での事業分野の選択と経営資源の集中を行い、グローバル生産供給体制の最適化・再構築を行います。

② 企業体質の強化

フリーキャッシュフロー改善による財務体質の強化と、開発型ものづくり企業としての継続的改善を行うとともに、「構造改革」を支える経営管理能力の強化と業務革新に努めます。

③ 次世代に向けた取り組み

次世代ビジネスの柱となる新価値商品の創出、機電一体による商品の高付加価値化を目指します。また、グローバル品質保証体制の強化により、お客さま満足の上向上に努めます。

新型コロナウイルス感染症が及ぼす世界経済への影響は甚大なものとなっております。しかし、当社の商品・サービスは今後とも市場から求められるものであり、この難局に対し、確固たる思いで構造改革に取り組み、未来を切り拓いてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

取締役社長
北田 勝義



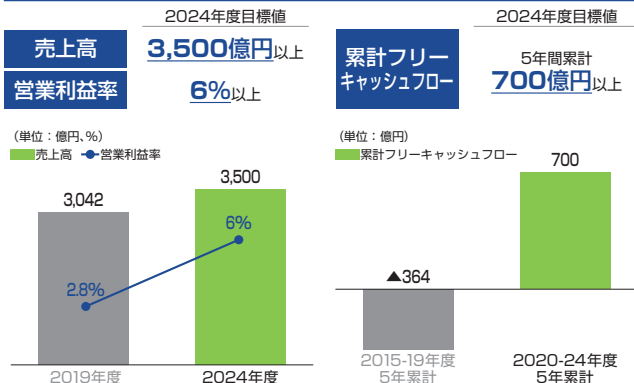
1. 中期経営計画の基本方針

収益力・キャッシュフロー創出力の強化による財務体質の改善

重点施策Ⅰ 事業構造改革の推進	重点施策Ⅱ 企業体質の強化	重点施策Ⅲ 次世代に向けた取り組み
1. 四輪事業 ①「市場・顧客」×「商品」における選択と経営資源の集中 ② グローバル生産供給体制の構造改革（最適化・再構築） 2. 二輪・汎用事業 ① 成長の見込める二輪事業への経営資源シフト	1. フリーキャッシュフロー改善による財務体質の強化（固定費圧縮） 2. 開発型ものづくり企業としての継続的改善（継続的VA） 3. 「構造改革」を支えるガバナンス・経営管理能力の強化と業務革新	1. 次世代のビジネスの柱となる新価値商品の創出 2. システム開発を強化し、機電一体化による商品の高付加価値化 3. 品質問題の未然防止・再発防止・早期収束

2. 計画期間における経営目標

■ 第12次中期経営計画は2020年度～2024年度の5年間
■ 本計画最終年度（2024年度）の業績目標値は以下の通り



3. 重点施策Ⅰ：事業構造改革の推進

顧客・商品ごとに市場・競合の動向や収益状況を踏まえ対応方針を策定

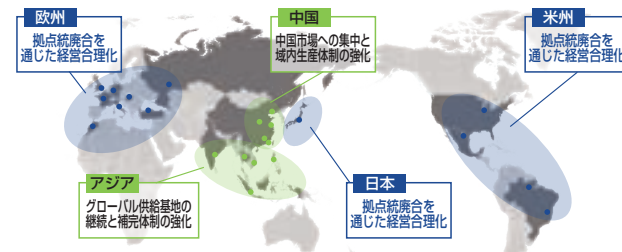
① 事業の選択と集中



3. 重点施策Ⅰ：事業構造改革の推進

事業の選択と集中と並行して、グローバル生産供給体制を再編

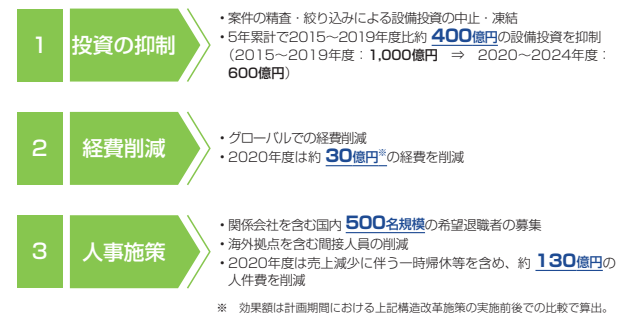
② グローバル生産供給体制の最適化：エリア別の対応方針



4. 重点施策Ⅱ：企業体質の強化

フリーキャッシュフロー改善に向け、各種施策を推進

構造改革によるフリーキャッシュフローの改善



5. 重点施策Ⅲ：次世代に向けた取り組み

四輪事業方針	次世代システム商品の強化	利益を生む事業へ変革する
二輪・汎用事業方針	環境対応商品の強化 二輪売上比率 25%超	ミツバの成長を牽引する

